

青少年活動啓発事業

1. 子どもセンター事業

青少年団体の代表者及びボランティアで構成された河内長野市子どもセンター協議会※による地域の子どもの自然体験や家庭教育支援に関する様々な関係機関や地域の関係者からの情報の収集、情報誌の作成による情報の提供、ホームページの作成、運営を実施。

(1) 情報誌キッズアイの発行

保護者や子どもたちに体験活動や家庭教育の支援に関する情報等が容易に入手できるように、前年度と同様に情報の収集並びに情報の提供及び情報誌の発行を行った。

また、情報誌は小中学生に配布するとともに、各幼稚園、保育所、公民館等にも配架し、合わせて約3万6千部を発行した。年間6回（奇数月）発行。

※ 河内長野市子どもセンター協議会

…子どもの地域における体験活動機会の提供及び家庭教育の支援を図るために設立された協議会のこと。

(2) 子どもセンターホームページの運営

イベントの詳細な情報（画像など）や、市の歴史ページ等を掲載し、子ども向け総合ポータルサイトを運営した。

また、子どもたちと保護者が、簡単に情報収集しやすいように、サイトの充実に取り組んだ。これにより、各種企画、イベントへの参加者増加につなげた。

2. くろまるキッズ事業

現在市内で実施されている様々な講座やイベントの情報を集約してわかりやすく提供するとともに、小中学生の地域行事への参加を促進することで、小中学生が地域の大人とのつながりを深め、地域全体で子どもたちを育むことができる仕組みづくりを実施。

(1) くろまるキッズポイント制度

市や関係団体、民間が実施している講座、教室、イベント等（以下「講座等」という。）を「認定講座」として登録し、それらに参加するとポイントシールがもらえる仕組みにより、小中学生の参加意欲の高揚を図ることを目的に実施。

このことにより、地域が主体となって実施されている講座等にも積極的に子どもたちが参加するようになり、地域とのつながりを深めることができたほか、様々な講座を受講することで、学校教育以外での学習意欲を高めるきっかけづくりを行った。

(2) くろまるキッズ関連事業の実施

くろまるキッズを周知促進するため、夏休み期間中に実施されるくろまるキッズ認定イベントの情報等を集約し、それらを掲載した夏休み子ども情報誌「くろまるキッズどこいこナビ」を作成し、公立小学校の全児童に対して、約7千部を配布した。